

紙風船



せんぼく校のみなさんと交流しました

11月8日(木)、『せんぼく校交流』を行いました。6月に6年生がせんぼく校にお邪魔し、交流を深めてきました。今回は、桧木内小学校の5・6年生がせんぼく校のみなさんを招待し、ゲームなどを楽しみました。

自己紹介の後、「じゃんけん列車」「ポーリング」「校内ウォークラリー」を楽しみました。春に交流した6年生は、すでにせんぼく校のみんなの名前を覚えていて、声をかけながら、ゲームをリードしたり校内を案内していました。



内陸線にのって出かけよう ～ 4・5年生総合



4・5年生は「総合的な学習の時間」でふるさとについて学習しています。11月9日(金)は、松葉駅から上桧木内駅まで内陸線に乗りました。実際に内陸線に乗って説明を聞いたり、駅を見て発見したことや感じたことから、活性化のために自分たちでできることを考えることにしています。

また、上桧木内の山鳩館で、浅利久美子さんから海苔巻き作りを教えていただきました。カボチャやごま、ツルムラサキの実などを混ぜ込んだ、カラフルなご飯を海苔を挟みながら巻いていきます。切ってみるときれいな模様ができました。「ふるさとの伝統料理+新しいアイデア」の楽しい調理実習でした。

地域の発展に尽くした人たち ～ 4年生社会

4年生の社会の学習では、地域の発展に尽くした人たちについて学んでいます。そこで、西木のために功績を残した人たちについて調べ、紙芝居にまとめました。

☆橋本定之助さんは、上桧木内の方で、林業を盛んにした人です。植林により杉林を作り、それを村の財産として村のために使いました。

☆上杉修二さんは、桧木内の方で、獣医となり畜産を盛んにしました。また雑木を利用して木炭を大量生産したそうです。

☆西明寺の梁田理一郎さんは、杉の苗を育て、村人に分けてあげたり育て方を教えたりして、日本で初めて森林組合を作った方です。養蚕の奨励や発電所を作るなど、多方面で活躍したそうです。

このように、西木地区には大変な努力をしてふるさとのために尽くした方々がたくさんいることが分かりました。紙芝居を見せてもらった他の学年の児童や先生方も知らないことばかりで、勉強になりました。



お兄さん、お姉さんの読み聞かせ～2年生

2年生は、国語で習った『お手紙』を1年生に読み聞かせしてくれました。すらすらと、そして気持ちを込めながら読んでいました。1年生もしっかりと聞いていました。今度は、3年生と協力し、来年入ってくるこども園の年長さんも学校に招待して、お兄さんお姉さんぶりを発揮してくれることになっています。



運動集会

今年も運動放送委員会のみなさんが、『運動集会』を開いてくれました。「ピンポン玉リレー」「長縄跳び」「風船バレー」の3種目を縦割りグループで競い合いました。その後全校で「じゃんけん列車」を楽しみました。

感想発表では、たくさんの児童が感想を述べてくれました。

「負けたけれど楽しかった」という感想もたくさんありました。勝ち負けではなく、みんなで体を動かし汗をかいた、楽しい時間でした。



ピンポン球リレー



長縄跳び